

平成31年(令和元年)度 (2019年) 年報



令和元年5月 五稜会病院の正面玄関前のチューリップがきれいです。

医療法人社団 五稜会病院

平成から令和の時代になった年

平成31年（令和元年）度 年報報告

平成31年度は、5月1日から令和元年となりました。天皇の代替わりでの元号の変更です。「令和」という名前になるまでは、どんな元号になるのか心躍りました。

「令和」、とっても良い響きです。「人々が美しい心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているのだそうです。出展は日本で最も古い歌集の「万葉集」にある文章です。

平成の時代を振り返ると、私は平成7年に五稜会病院に入職しましたが、その年に旧病院の玄関等の改修工事があり、全身CTscanが導入されました。平成9年、五稜会病院に名称が変更となりました。平成15年にストレスケア・思春期病棟の運用が開始され、平成17年には医療機能評価機構の認定を受け、オーダリングも開始になりました。電子カルテの運用は平成22年のことです。その後、平成26年に外来・新病棟が完成となり、現在に至っています。

令和になって初めての学会となった、公益社団法人日本精神科病院協会第8回日本精神科医学会学術大会（大会長は平松記念病院理事長・院長宗代次先生）が、令和元年7月4日、5日、札幌コンベンションセンターにおいて開催されました。私が大会実行委員長としての大役を担わせて戴きました。シンポジウムの一つには、第13回日本禁煙学会学術大会大会長の社会医療法人公徳会トータルヘルスクリニック院長川合厚子先生の企画による「精神科病院での禁煙推進」がありました。私が川合先生と座長を務めた禁煙シンポは、令和元年7月1日から受動喫煙防止法施行で精神科病院でも原則敷地内禁煙となったことから、時期を得た内容でありました。

この学術大会は、日精協が公益社団法人になってから名称が変わり、その前身は、日本精神科病院協会精神医学会です。ストレスケア・思春期病棟が開設された年の平成15年7月10日・11日に、五稜会病院開設者の故田中稜一前理事長（当時日精協北海道支部長）を大会長として、第31回日本精神科病院協会精神医学会が開催されています。当時、新しい病棟が建築中だったことを思い出します。

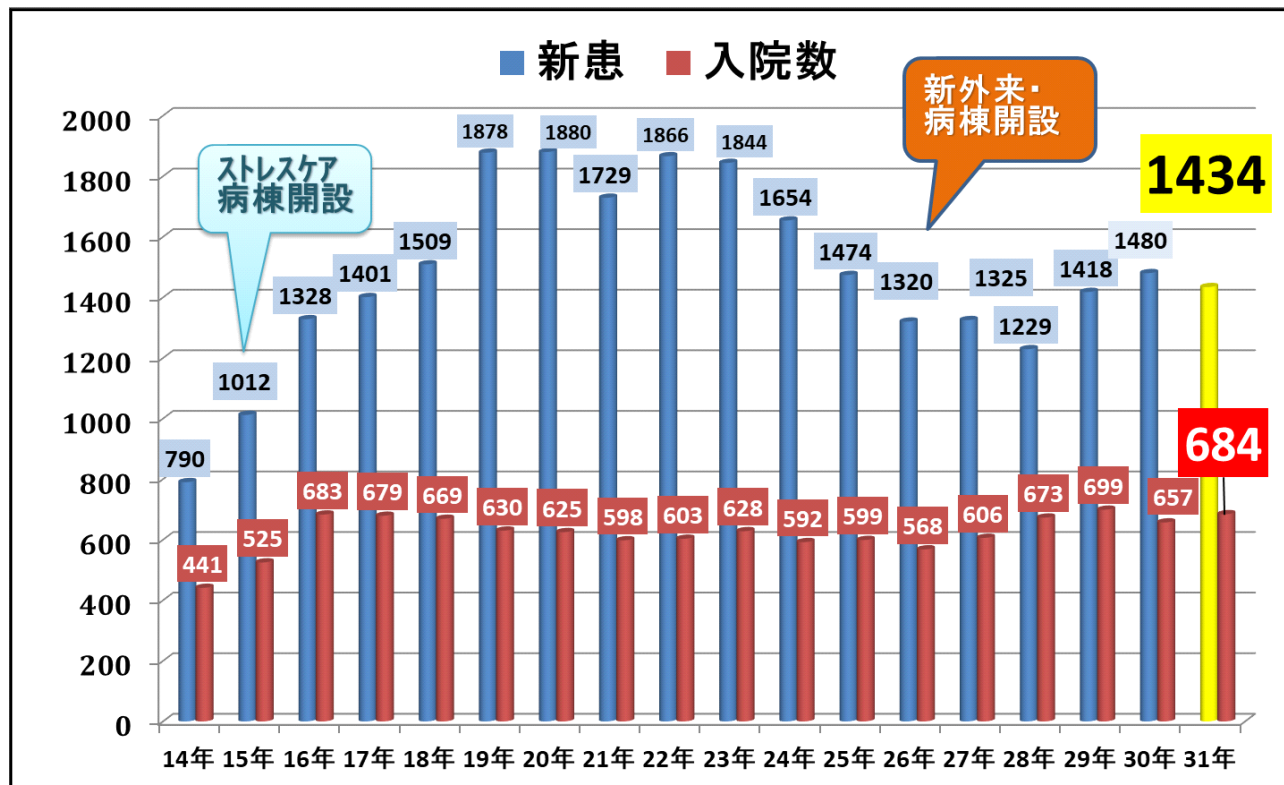
新しい令和時代になりました。精神科医療は常に変化しています。時代の流れに逆らうことはできません。平成時代は、五稜会病院にとって組織改変の時期でもありました。令和元年となって、新しい時代の流れに沿った、常に進化し続ける五稜会病院にしたいと願っています。皆様も、健康で豊かな生活が送れるような、令和時代にして下さい。

最後に、五稜会病院は地域の精神科医療の役割を担っている病院です。五稜会病院の1年間の軌跡を整理し、年報が新たな治療戦略をたてる糧になることを期待します。

新患統計

1 年度別新規患者数・入院者数

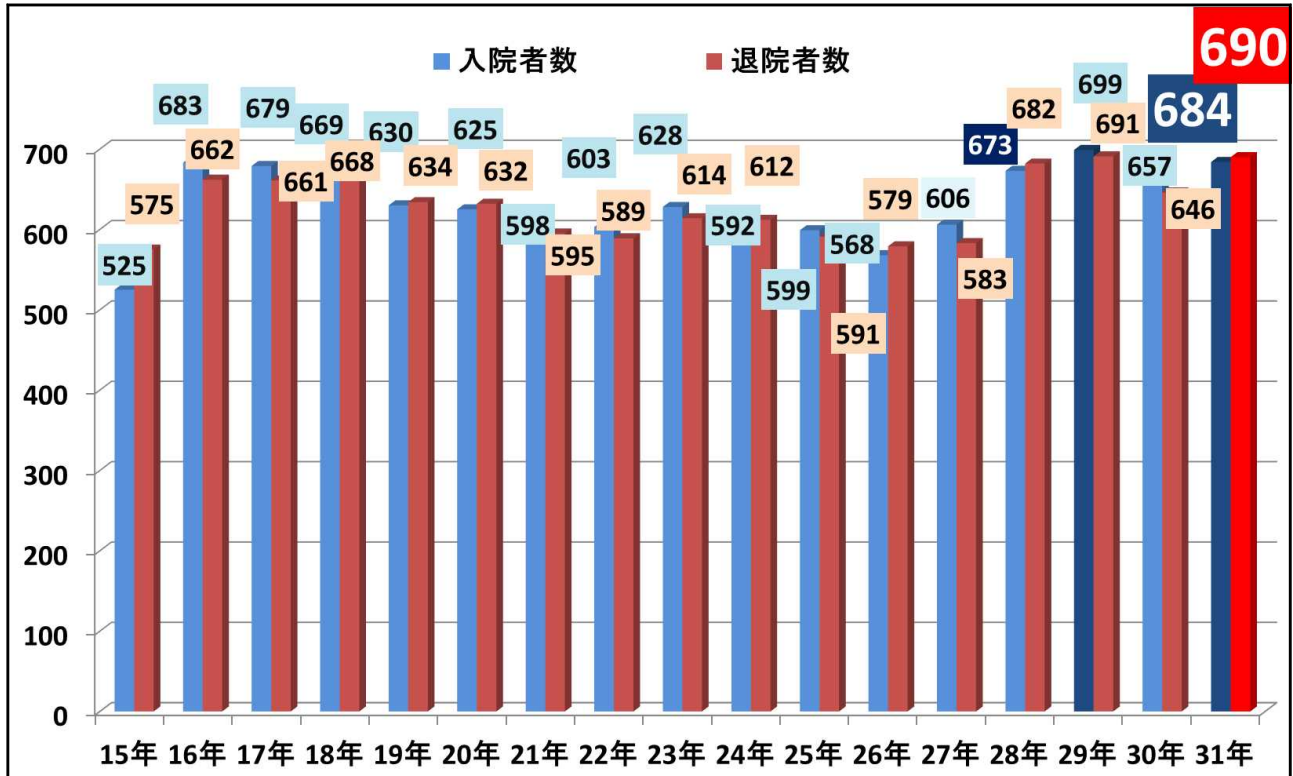
平成31年度の新規患者数（カルテベース）は1434人で、昨年と同様に1400人代であった。平成26年6月から新患は予約制しているのが適正であろう。平成26年5月からの新棟も既に5年が経過した。スタッフによる清掃でいつも新築同様のたたずまいである。入院者数は684人、退院数は690人であった。平均在院数は183.8人（病床利用率は95.3%）と目標通りであった。20歳未満加算の算定は月に約80件と児童思春期が多い。



2019年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
診療日数	21	21	23	23	23	22	24	23	21	24	22	22	269
入院数	55	49	53	54	59	58	58	58	54	57	66	63	684
退院数	53	54	50	61	63	56	50	60	56	63	60	64	690
入院総数	238	236	234	239	233	233	233	239	236	234	238	244	236.4
1日平均在院数	185.6	187.1	184.6	187.3	181	177.1	185.6	185.7	184.8	182.9	180.8	183.6	183.8
ベッド利用率	96.2%	96.9%	95.6%	97.0%	93.8%	91.8%	96.2%	96.2%	95.8%	94.8%	93.7%	95.1%	95.3%
平均在院日数	106.5	101.7	111.1	97.7	92	93.2	106.5	97.5	100.8	94.5	86.1	89.6	98.1
平均入院日数	89.1	76.5	67.1	83.6	110.1	90.3	74.7	182.3	68.6	131.5	60	84.7	93.2
初診患者数	126	139	161	161	153	173	206	185	166	164	173	165	1,972
新患数	86	95	101	109	110	104	117	114	104	109	115	112	1,276
患者延べ数	4772	4677	5106	5332	5064	5168	5813	5270	5237	5476	5159	5197	62,271
外来実人数	2871	2815	2912	2987	2933	2920	3119	3039	3059	3050	3019	3088	2,984
一日平均患者数	153.9	172	164.7	177.7	163.3	172.2	187.5	170	174.5	176.6	171.9	167.6	171
一日平均実数	227.2	222.7	222.0	231.8	220.2	234.9	242.2	229.1	249.4	228.2	234.5	236.2	232
時間外受診者	12	16	15	20	15	17	16	22	21	14	13	21	202
20歳未満加算	86	87	87	81	93	91	81	96	96	80	76	78	1,032

入院・退院患者統計

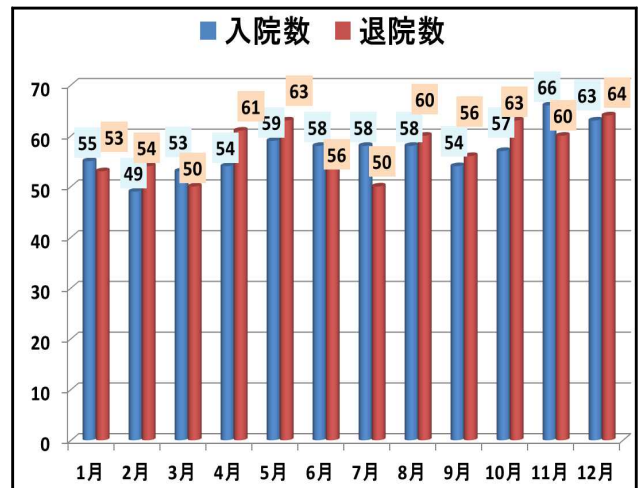
1 年度別入院者・退院者数



平成 11 年～ 14 年までは入院退院者数は 400 人台で推移していた。ストレスケア病棟がオープンした平成 15 年に 500 人を越えた。平成 16 年度の急性期病棟運用時から入院退院ともに 600 人台であった。平成 26 年の入院は 568 人と少なかったが、平成 28 年は 673 人、平成 29 年度は 699 人と大幅に増え、平成 30 年 657 人であった。

2 月別入院者・退院者数

月別の入院者で最も多いのは 11 月、12 月であった。特に 11 月は 66 人と多かった。少ない月は、2 月で 49 人である。例年少ない月になる。平均して 55 人前後の月が多い。退院は 4 月、5 月、10 月、11 月、12 月が 60 人越えであった。退院は、どうしても週末、月末に集中することがあり、ある程度入院治療の方向性を決めて退院日を設定する必要がある。病院運営とのバランスを考慮する必要がある。



入院患者

1 入院回数

初回入院が 283 人 (41.4 %) である。2 回目が 107 人 (15.6%)、5 回以上の入院者は 174 人 (25.4%) であった。

入院回数	1回	2回	3回	4回	5回以上	総計
総計	283	107	67	53	174	684
%	41.4%	15.6%	9.8%	7.7%	25.4%	100%

2 年代・性別入院者

年齢は 12 歳から 82 歳、平均は 39.8 歳で 40 歳代が最多で 146 人 (21.3%)、次いで 30 歳代、20 歳代である。10 歳代の入院者は 81 人 (11.8%) で 1 割を占めている。性別では女性が 7 割近くを占める。30 歳代までで半数、40 歳代までで 7 割、50 歳代までで 8 割 5 分、70 歳代以上は本当に少ない。

年代\性	男	女	総計	%
10歳代	18	63	81	11.8%
20歳代	28	92	120	17.5%
30歳代	31	102	133	19.4%
40歳代	55	91	146	21.3%
50歳代	41	57	98	14.3%
60歳代	28	34	62	9.1%
70歳代	16	24	40	5.8%
80歳代	2	2	4	0.6%
総計	219	465	684	100%
%	32.0%	68.0%	100%	

3 入院時診断

F3 (気分障害圏) が最多で 197 人 (28.8%)、次いで、F4 (神経症圏) 171 人 (25.0%)、F2 (統合失調症圏) 166 人 (24.3%) であった。この 3 つの疾患で 3/4 を占める。F8 (発達障害圏) は前年同様。F1 (アルコール依存症) は 30 人、F5 (生理的障害) は 11 人 (1.6%)。

F分類	男	女	総計	%
F0	2	4	6	0.9%
F1	17	13	30	4.4%
F2	64	102	166	24.3%
F3	76	121	197	28.8%
F4	35	136	171	25.0%
F5	1	10	11	1.6%
F6	1	6	7	1.0%
F7		16	16	2.3%
F8	15	25	40	5.8%
F9	3	28	31	4.5%
G	5	4	9	1.3%
総計	219	465	684	100%

4 病棟毎の年代・性別・入院形態・F分類

2 病棟 (急性期) が半数の 326 人が入院し、5 病棟 (ストレスケア・思春期病棟) が 286 人と 4 割強の入院である。1 病棟 (療養潰瘍) と 3 病棟 (療養閉鎖) は急性期患者以外の入院を受けている。10 歳代の入院は 2 病棟でも 30 人あるが、5 病棟での入院が 45 人と多い。男女別では、女性が 7 割を占める。特に 5 病棟では女性の比率が高い。入院形態は、任意入院が 8 割を占め、2 病棟でも任意入院の割合が多い。出来るだけ患者の入院治療の理解を勧めている結果であり、評価できる。応急入院は 4 人、措置入院はわずか 1 人であった。司法精神医学では、鑑定入院者が 6 人いた。2 人が公判裁判で鑑定医の中島が証人尋問に呼ばれている。疾患別では、2 病棟で F2 が多い一方、5 病棟では F4 (神経症圏)、F3 の気分障害圏が多く、F2 は少ない。F8 (発達障害) は 2 病棟、5 病棟と同じ入院者数であった。F0 (認知症) は 2 病棟のみ、F9 (知的障害) は、2 病棟ばかりではなく以外にも 5 病棟でも多く入院している。F1 (アルコール依存症) は、ほとんどが 2 病棟での入院となっている。

年代\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
10歳代	3	30	3	45	81	11.8%
20歳代	5	63	5	47	120	17.5%
30歳代	4	61	12	56	133	19.4%
40歳代	9	61	8	68	146	21.3%
50歳代	3	52	3	40	98	14.3%
60歳代	3	35	4	20	62	9.1%
70歳代	4	22	6	8	40	5.8%
80歳代		2		2	4	0.6%

性別\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
男	5	114	10	90	219	32.0%
女	26	212	31	196	465	68.0%
総計	31	326	41	286	684	100.0%

入院形態\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
任意	31	196	35	286	548	80.1%
医療保護		119	6		125	18.3%
応急		4			4	0.6%
措置		1			1	0.1%
鑑定		6			6	0.9%
総計	31	326	41	286	684	100.0%

F分類\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0		6			6	0.9%
F1		27		3	30	4.4%
F2	9	116	17	24	166	24.3%
F3	7	79	9	102	197	28.8%
F4	8	49	7	107	171	25.0%
F5	1	3		7	11	1.6%
F6	1	4		2	7	1.0%
F7	2	10	2	2	16	2.3%
F8	1	17	4	18	40	5.8%
F9	2	14	2	13	31	4.5%
G		1		8	9	1.3%
総計	31	326	41	286	684	100%
%	4.5%	47.7%	6.0%	41.8%	100.0%	

5 紹介元病院・クリニック(敬称略)

紹介元の病院、クリニックを表に示す。4割は紹介患者である。左が平成30年度、右が平成31年度である。平成30年度は、ストレスケアすすきのクリニックからの紹介が22人もいたが、平成31年度は16人と減ったがそれでも最多であった。次いで、こころメンタルクリニックの14人、勤医協中央病院からの10人、札幌医大、私立札幌病院と続く。

医療機関	病棟				総計	%	紹介元\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%	
	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟										
ストレスケアすすきのクリニック		4		18	22	3.3%	ストレスケアすすきのクリニック		6			10	16	2.3%
三浦メンタルクリニック		2		9	11	1.7%	こころメンタルクリニック		1	1		12	14	2.0%
こころメンタルクリニック	1	2		6	9	1.4%	勤医協中央病院		9	1			10	1.5%
勤医協中央病院		6	1		7	1.1%	札幌医大		5	2	2		9	1.3%
札幌メンタルクリニック		3		2	5	0.8%	市立札幌病院		4	2	1		7	1.0%
東徳洲会病院		4		1	5	0.8%	三浦メンタルクリニック		1			5	6	0.9%
円山公園メンタルクリニック		2		2	4	0.6%	さっぽろ元町メンタルクリニック		3			2	5	0.7%
さっぽろ麻生メンタルクリニック				4	4	0.6%	さっぽろ心療内科クリニック		4			1	5	0.7%
大通公園メンタルクリニック		4			4	0.6%	サッポロファクトリーメンタルクリニック		4				4	0.6%
なかまの杜クリニック		1		3	4	0.6%	東札幌メンタルクリニック		2			2	4	0.6%
大通り西11丁目こころのクリニック		1		3	4	0.6%	そらの杜クリニック		1			3	4	0.6%
こころとそだちのクリニックむすびめ				3	3	0.5%	円山公園メンタルクリニック		1	1	1		3	0.4%
サッポロファクトリーメンタルクリニック		2		1	3	0.5%	札幌ことこメンタルクリニック		1	1	1		3	0.4%
江別すずらん病院			1	2	3	0.5%	札幌メンタルクリニック		2			1	3	0.4%
市立札幌病院		2		1	3	0.5%	札幌佐藤病院		1	1	1		3	0.4%
氏家記念こどもクリニック		1		2	3	0.5%	手稲メンタルクリニック		1			2	3	0.4%
時計台メンタルクリニック		1		2	3	0.5%	大谷地病院		2			1	3	0.4%
手稲溪仁会病院		2		1	3	0.5%	大通り心療内科クリニック		1			2	3	0.4%
石橋病院		1		2	3	0.5%	大通り西11丁目こころのクリニック		2			1	3	0.4%
大通り心療内科クリニック		3			3	0.5%	南平岸内科クリニック			1		2	3	0.4%
朋友会札幌産科婦人科病院		1		2	3	0.5%	和光メンタルクリニック	1	1			1	3	0.4%
Nico Nicoメンタルクリニック		2			2	0.3%	こころと発達クリニックえるむの木					2	2	0.3%
そらのもりクリニック				2	2	0.3%	ことこ心療内科		2				2	0.3%
札幌厚生病院		2			2	0.3%	さくらメンタルクリニック					2	2	0.3%
さっぽろ香雪病院		1		1	2	0.3%	さっぽろ駅前クリニック			1		1	2	0.3%
札幌こころの診療所		1		1	2	0.3%	しもでメンタルクリニック			1		1	2	0.3%
札幌医大病院			1	1	2	0.3%	花岡神経クリニック			1		1	2	0.3%
札幌東徳洲会病院		2			2	0.3%	桑園病院					2	2	0.3%
大谷地病院		2			2	0.3%	黒川メンタルクリニック					2	2	0.3%
大通りつげのクリニック		1		1	2	0.3%	札幌なかまの杜クリニック		2			1	3	0.4%
中垣病院		1	1		2	0.3%	大通公園メンタルクリニック		2				2	0.3%
北海道脳神経外科記念病院		1		1	2	0.3%	北大病院		1	1			2	0.3%
北大整形外科	1		1		2	0.3%								
さっぽろ駅前クリニック			1		1	0.3%								
江別こころのクリニック				2	2	0.3%								
メンタルケアさっぽろ西口クリニック				2	2	0.3%								
東札幌メンタルクリニック				2	2	0.3%								

退院患者

1 年齢・年代別・性別退院患者数

年齢は 12 歳～ 83 歳、平均年齢 40.4 歳である。年代別では 20 歳代～ 40 歳代が多く、この年代で 6 割を占める。10 歳代は 87 人(12.6%) と前年よりも若干低下している。70 歳以上は 39 人 (5.6%) と昨年と同様である。80 歳以上は 5 人のみであった。年齢分布からみると、65 歳未満までが 9 割を占める。75 歳以上の後期高齢者は 11 人 (1.6%) である。

性別では、女性が 7 割を占める。

2 退院時診断

F2 (統合失調症圏) が 169 人 (24.5%)、F3 (気分障害) 187 人 (27.1%)、F4 (神経症圏) 186 人 (27.0%) とこの 3 つの疾患が同じ割合である。次が F8 (発達障害) 37 人 (5.4%)、F9 (行為及び情緒の混合性の障害・注意欠如多動性障害) 35 人 (5.1%) と発達障害が多くなっている。F1 (アルコール依存症等) は 26 人(3.8%)、F5 (摂食障害・睡眠障害等) は 13 人 (1.9%)、F6 (パーソナリティ障害) 10 人(1.4%) の順である。F0 (認知症・器質性) は 11 人(1.6%) だと少ない。

3 入院期間

2 ～ 6,279 日、平均 95.4 日、前々年の 121.4 日より大幅な短縮である。長期入院の退院者が少なかったためである。期間別では 1 ヶ月未満が 181 人 (26.2%)、1 ヶ月以上 2 ヶ月未満が 157 人 (22.8%)、2 ヶ月以上 3 ヶ月未満が 230 人 (33.3%) と前年とほぼ同様。3 ヶ月未満の退院が 8 割、6 ヶ月未満が 9 割強、1 年未満が 97% である。1 年以上は 21 人。病棟別にみると、2 病棟、5 病棟は、それぞれ 56.1 日、56.0 日で 2 か月を切っている。5 病棟は 90 日以内の退院なので、最大が 122 日であった。

年代\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
10歳代	5	31	6	45	87	12.6%
20歳代	16	37	8	50	111	16.1%
30歳代	14	44	18	64	140	20.3%
40歳代	29	40	8	76	153	22.2%
50歳代	17	32	5	38	92	13.3%
60歳代	12	29	9	18	68	9.9%
70歳代	4	15	7	8	34	4.9%
80歳代	1	2		2	5	0.7%
総計	98	230	61	301	690	100.0%

年齢分布\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
20歳未満	5	31	6	45	87	12.6%
20歳以上40歳未満	30	81	26	114	251	36.4%
40歳以上65歳未満	52	87	17	122	278	40.3%
65歳以上75歳未満	9	27	10	17	63	9.1%
75歳以上	2	4	2	3	11	1.6%
総計	98	230	61	301	690	100.0%

性別\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
男	27	84	11	100	222	32.2%
女	71	146	50	201	468	67.8%
総計	98	230	61	301	690	100.0%

F分類\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0		10	1		11	1.6%
F1	7	13	1	5	26	3.8%
F2	41	76	29	23	169	24.5%
F3	28	53	8	98	187	27.1%
F4	13	39	8	126	186	27.0%
F5	1	3		9	13	1.9%
F6	1	4	3	2	10	1.4%
F7	1	7	4	4	16	2.3%
F8	4	11	5	17	37	5.4%
F9	2	14	2	17	35	5.1%
総計	98	230	61	301	690	100.0%
%	14.2%	33.3%	8.8%	43.6%	100.0%	

入院期間\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
1ヶ月未満	11	87	7	76	181	26.2%
1月以上2月未満	15	53	13	76	157	22.8%
2月以上3月以下	33	64	5	128	230	33.3%
3月超6ヶ月未満	18	21	14	21	74	10.7%
6月以上1年未満	11	4	12		27	3.9%
1年以上3年未満	8	1	9		18	2.6%
3年以上5年未満	1				1	0.1%
10年以上	1		1		2	0.3%
最小	2	2	2	2		
最大	6,279	495	4,005	122		
平均	216.2	56.1	244.4	56.0		
総計	98	230	61	301	690	100.0%

4 長期入院の退院者

1年以上入院して退院した7人の内訳を示す。3年以上3人、10年以上は2人であった。全例が統合失調症者である。7人のうち5人が当院外来につながっている。2人は身体合併症のための転院である。1人は身体合併症のために総合病院の身体科に転院し、再度当院に入院となった。

年代	性	入院期間	回数	F分類	入院形態	転院	病院名
20歳代	女	1年以上3年未満	5	F8	任意入院	無	当院外来
50歳代	女	1年以上3年未満	1	F3	任意入院	無	当院外来
60歳代	女	1年以上3年未満	4	F3	任意入院	入院	身体科病院
70歳代	女	1年以上3年未満	12	F3	任意入院	無	当院外来
40歳代	男	3年以上5年未満	8	F2	任意入院	無	当院外来
60歳代	男	10年以上	2	F2	医療保護入院	入院	総合病院
80歳代	女	10年以上	2	F2	医療保護入院	無	当院外来

5 入院および退院した病棟

301人(43.6%)と半数近くは5病棟からの退院である。2病棟入院後に5病棟に転棟して退院したのは24人であった。急性期は2病棟に入院(48.3%)し、安定してさらなる治療モチベーションがあれば5病棟、1病棟の開放病棟転に転棟しての退院である。2病棟からの退院は230人(33.3%)、1病棟からは98人(14.2%)、3病棟からは61人(8.8%)が退院している。

入院\退院病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
1病棟	19	4	1	5	29	4.2%
2病棟	62	221	26	24	333	48.3%
3病棟	9	1	30	1	41	5.9%
5病棟	8	4	4	271	287	41.6%
総計	98	230	61	301	690	100.0%
%	14.2%	33.3%	8.8%	43.6%	100.0%	

6 退院者の入院時・退院時の入院形態

入院時の入院形態は任意入院が544人(78.8%)を占め、136人(19.7%)が医療保護入院である。退院時に医療保護入院は64人(9.3%)である。医療保護入院での入院者の半数以上77人が任意で退院している。治療の基本は任意での入院である。本人の主体的な治療意欲がないと病状の改善も得られない。措置入院の退院者は2人であったが、2人ともに任意入院で退院している。

入院\退院形態	任意	医保	応急	鑑定	総計	%
任意	539	5			544	78.8%
医保	77	59			136	19.7%
応急	4		1		5	0.7%
措置	2				2	0.3%
鑑定				3	3	0.4%
総計	622	64	1	3	690	100.0%
%	90.1%	9.3%	0.1%	0.4%	100.0%	

1 対象

平成 30 年 1 月～ 12 月までの退院者 690 人中、退院時に満足度調査の回答が得られた 480 人 (69.6%)を対象に分析を行った。回収率の目標は 80%である。病棟別では、2 病棟が最も高く 78.7%、次いで 5 病棟の 67.1 %である。療養病棟が少ないのは改善の余地がある。

満足度	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
本人の回答	62	181	35	202	480	69.6%
%	63.3%	78.7%	57.4%	67.1%	69.6%	
家族の回答	25	134	18	88	265	38.4%
%	25.5%	58.3%	29.5%	29.2%	38.4%	
総計	98	230	61	301	690	100.0%

対象者の基礎データ 480 人

年齢 13 歳～ 83 歳 (平均 40.4 歳)
 性別 男 = 156(32.5 %) 女 = 324(67.5 %)
 入院期間 2～ 947 日 平均 79.3 日
 入院回数 1～ 22 回 (平均 3.3 回)
 初回 = 205(43.3%)、2 回目 = 78(16.3%)、
 3 回目 = 51(10.6%)、4 回目 = 40 (8.3%)
 5 回目以上 = 103 (21.5%)

診断別・入院形態

F3 (気分障害圏) が最多の 28.1 %を占める。F4 (神経症圏) は 27.5 %、次いで F2 (統合失調症圏) の 24.4%、の順である。

F分類\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
F0		7	1		8	1.7%
F1	5	9	1	3	18	3.8%
F2	24	60	19	14	117	24.4%
F3	17	44	4	70	135	28.1%
F4	9	29	3	91	132	27.5%
F5	1	3		1	5	1.0%
F6	1	3	1	2	7	1.5%
F7	1	7	3	1	12	2.5%
F8	3	8	1	8	20	4.2%
F9	1	11	2	12	26	5.4%
総計	62	181	35	202	480	100.0%

入院時の入院形態は 8 割弱が任意入院で医療保護入院は 2 割である。応急入院が 3 人、措置入院者は 2 人であった。退院時の退院形態は、任意が 90.4 %である。

入院形態\病棟	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	総計	%
任意	44	108	22	196	370	77.1%
医保	16	71	13	5	105	21.9%
応急	1	1		1	3	0.6%
措置	1	1			2	0.4%
総計	62	181	35	202	480	100.0%

2 方法

1. 入院治療についての全体的満足度 CSQ-8J (Client Satisfaction Questionnaire)
2. 入院に際する説明、入院中の治療に対する説明
3. 医師・看護婦などのスタッフに対する評価
4. 入院生活の快適さ
5. 家族の評価 等の調査を行っている。

3 結果

全体的満足度は 86.1 %、家族では 87.7 %であった。9 割の方が満足であったと回答してくれている。効果的な対処を学べたかが一番評価が高くて 93.2 %であった。ストレス対処の仕方などカウンセリングや集団療法が奏功していると思われた。逆に低い項目は、入院中の快適さ、緑の多さ、作業療法室である。例年、事務員の応対が 7 割台の満足度であったが、今回は 86.4 %が良い以上であった。医事課スタッフの顔ぶれをみれば頷ける数字であった。家族では、入院説明が 93.3 %と高率に満足の評価が高かった。

項目	良くない	まあまあ	良い	大変良い	良い以上	%	総計
1 治療の質	11	111	203	141	344	73.8%	466
2 望んだ治療か	10	61	280	112	392	84.7%	463
3 必要としたか	11	111	232	107	339	73.5%	461
4 推薦するか	15	70	276	94	370	81.3%	455
5 時間をかけた援助	12	75	247	131	378	81.3%	465
6 効果的な対処	8	23	260	168	428	93.2%	459
7 全体の満足	9	55	258	139	397	86.1%	461
8 治療に戻るか	27	70	247	107	354	78.5%	451
9 事務員の応対	12	51	233	166	399	86.4%	462
10 看護婦	9	61	176	216	392	84.8%	462
11 医師	15	86	160	197	357	77.9%	458
12 他のスタッフ	5	45	191	215	406	89.0%	456
13 入院の説明	17	38	197	203	400	87.9%	455
14 入院中の説明	13	51	189	165	354	84.7%	418
15 入院生活の快適さ	36	130	151	108	259	60.9%	425
16a 病室の広さ	21	74	282	48	330	77.6%	425
16b 廊下幅	15	64	272	72	344	81.3%	423
16c テイルーム	24	69	258	69	327	77.9%	420
16d 作業療法室	54	86	221	45	266	65.5%	406
16e 壁の色	3	72	282	63	345	82.1%	420
16f 緑の多さ	47	121	164	82	246	59.4%	414
16g 臭い	29	88	202	100	302	72.1%	419
16h 清潔度	15	72	216	118	334	79.3%	421
17 医療費	31	92	237	28	265	68.3%	388
家族評価	良くない	まあまあ	良い	大変良い	良い以上	%	総計
21 入院説明	5	12	74	164	238	93.3%	255
22 入院中の説明	6	25	114	99	213	87.3%	244
23 事務員	1	28	137	86	223	88.5%	252
24 看護婦	1	33	115	108	223	86.8%	257
25 医師	4	34	105	103	208	84.6%	246
26 他のスタッフ		27	116	102	218	89.0%	245
27 医療費	11	59	169	8	177	71.7%	247
28 全体の満足	7	24	126	96	222	87.7%	253

全体満足度を「1」とつけた患者さん

9人の患者さんが全体満足度を「良くない」としているが、家族の満足度は高かった。20歳代が5人と多い。男女別では半々である。疾患別では、F3、F4の気分障害、神経症圏が多い。2病棟入院者が多い。6人が任意入院であり、同じく6人は通院している。

年代	性	F分類	回数	入院期間	入棟	退棟	入院形態	転帰	家族の満足
20歳代	男	F3	1	2月以上3月以下	5病棟	5病棟	任意	紹介元クリニック	
20歳代	女	F4	1	1ヶ月未満	2病棟	2病棟	任意	紹介元クリニック	3
20歳代	男	F4	1	2月以上3月以下	2病棟	2病棟	任意	当院外来	
20歳代	女	F3	5	2月以上3月以下	2病棟	2病棟	任意	当院外来	3
60歳代	男	F3	1	3月超6ヶ月未満	2病棟	1病棟	医保	当院外来	
40歳代	男	F3	1	1ヶ月未満	2病棟	2病棟	医保	当院外来	
30歳代	女	F7	3	1月以上2月未満	2病棟	2病棟	任意	当院外来	
20歳代	男	F4	1	2月以上3月以下	2病棟	2病棟	医保	紹介元クリニック	
10歳代	女	F4	2	1ヶ月未満	5病棟	5病棟	任意	当院外来	3

治験とは国から薬として承認を受けるために行う臨床試験のことです。治験では、新しく開発された薬の人での有効性（効き目）や安全性（副作用）などを確認します。現在、世界中で数多くの薬が使われていますが未だに有効な治療薬がない病気も多くあります。これらの病気に対しては効果のある新しい薬の開発が必要です。そのため世界中で新しい医薬品の開発を目指して治験が行われています。

当院では積極的に治験に取り組み、新たな薬剤開発に協力しています。最近では、抗うつ剤のトリンテリックスは当院でも治験を実施した薬剤です。

治験審査委員会（IRB）は、毎月第3金曜日に開催し、治験内容について審議しています。

IRB審議内容

医療法人社団 五稜会病院 治験審査委員会 — 開催のお知らせ —

1. 開催日時：西暦 2019 年 1 月 18 日（金）12：00 ～

2. 場 所：医療法人社団 五稜会病院 医局

出席者：中山 誠、藤井 英介、吉野 賀寿美、鈴木 大輔、古瀬 諒二、田中 倉一、井出 端門
泉 純一、阿部 重子

9 名中 / 名

2. 審議・報告内容

1. 大日本住友製薬株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

- * 「SM-13496 の急性憎悪期の統合失調症患者を対象としたプラセボ対照二重盲検並行群間比較による検証的試験【D1001066】」
- * 「SM-13496 の統合失調症患者を対象とした非盲検継続投与試験【D1001067】」
報告事項：治験終了報告

2. 塩野義製薬株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

- * 「デュロキセチン塩酸塩の児童思春期うつ病患者を対象とした第 3 相臨床試験-プラセボに対する優越性試験-【1701A3631】」
審議事項：安全性情報、織り込みチランシのデザイン変更
- * 「デュロキセチン塩酸塩の児童思春期うつ病患者を対象とした第 3 相臨床試験-継続長期投与試験-【1701A3632】」
審議事項：安全性情報

3. 大塚製薬株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

- * 「大うつ病性障害患者を対象としたブレクスピプラゾール補助療法の有効性及び安全性を評価するプラセボ対照、無作為化、多施設共同、二重盲検、並行群間比較試験【331-102-0058】」
- * 「大うつ病性障害患者を対象としたブレクスピプラゾール補助療法の長期安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検試験【331-102-0059】」
審議事項：安全性情報、治験薬概要書・同意説明文書改訂

4. Meiji Seikaファルマ株式会社より依頼

（治験実施施設：五稜会病院）

- * 「ME2112 の急性憎悪期統合失調症患者を対象としたプラセボ対照二重盲検比較による検証的試験（第Ⅲ相）【ME2112-2】」
審議事項：安全性情報、期間延長

<次回 IRB 予定> . . . 2019 年 2 月 15 日（金）12 時～

平成31年度の司法精神医学関係の実績です。平成22年の刑事事件の本鑑定開始以来、平成23年には4件、平成24年は2件の実施でした。平成25年は本鑑定が3件、医療観察法の鑑定が1件、平成26年度は、新病棟完成で個室が増えたことから本鑑定入院も増加し、12件でした。平成31年度は本鑑定6件、簡易鑑定10件でした。検察庁や裁判所から、急の依頼がありますので、日頃の準備が必要です。裁判所から証人尋問にも呼ばれました。医療観察法審判の審判員・参与員としてはお呼びが掛かりませんでした。平成28年度から、医療観察法の指定通院医療機関として3名の患者の診療を行っています。精神科医療というのは社会と密接に繋がっており、司法精神医学は社会貢献になっています。

月	日	演題名	回数	学会名	演者	分類
1	17	殺人	46	40代女性、アルコール依存症	中島公博	本鑑定
2	15	起訴前鑑定入院と医療観察法の鑑定入院の同時検討・議題提案		心神喪失者等医療観察法関係研究協議会	中島公博	医療観察法
2	15	医療観察協議会		札幌地方裁判所医療観察法研究会	中島公博	医療観察法
3	12	強制わいせつ	66	50代男性、覚醒剤後遺症	中島公博	簡易鑑定
3	13	殺人	47	40代男性、アルコール依存症	中島公博	本鑑定
3	25	さっぽろ医療観察連絡協議会		症例報告、グループワーク、情報共有等	今井佐千子	医療観察法
4	16	殺人未遂・傷害	67	30代男性、双極性感情障害	中島公博	簡易鑑定
5	29	殺人未遂(父親)	68	30代男性	中島公博	簡易鑑定
7	9	傷害	69	40代男性	中島公博	簡易鑑定
7	12	殺人未遂	48	20代女性、うつ	中島公博	本鑑定
7	24	傷害	70	20代男性、ASD	中島公博	簡易鑑定
9	18	窃盗	71	20代男性	中島公博	簡易鑑定
10	2	器物破損	72	40代男性	中島公博	簡易鑑定
10	17	住居侵入、窃盗	73	40代男性	中島公博	簡易鑑定
10	29	住居侵入、窃盗	74	40代女性	中島公博	簡易鑑定
11	8	放火	49	30代男性、多重人格	中島公博	本鑑定
11	15	脅迫未遂	50	50代女性、MS器質性精神病性障害	中島公博	本鑑定
12	20	傷害	51	40代男性、統合失調症	中島公博	本鑑定
12	25	暴行	75	60代男性、MR	中島公博	簡易鑑定